

2025 年 6 月 26 日

学校法人三幸学園
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校
校長 武田 政司 殿

学校関係者評価委員会
委員長 中村 宗人

学校関係者評価委員会実施報告

2024 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 中村 宗人 (マスダプランニング株式会社 経営企画室マネージャー)
- ② 松田 桃香 (ホテルモントレ株式会社 第 10 期卒業生)
- ③ 川原 祥吾 (株式会社共立メンテナンス寮事業部 札幌支店)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2025 年 6 月 25 日 (会場 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校 303 教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2024 年度 学校法人 三幸学園 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 熊本絢子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 中村宗人

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできる No. 1 のプランナー・コーディネーターとなる人材」、観光業のプロとして「お客様のニーズ」を知り、期待を超えるサービス（現場力、おもてなし力）で地域、日本の魅力を発信できる人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

2024 年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた

- ・教務方針としてチームワークをテーマとし担任と講師連携し授業・業界への魅力を伝え続けることを強化
- ・生徒指導で大切にしたいこととして、小さな成功体験を重ね一步一步前進させること、勇気づけの関わりを意識し指導を徹底
- ・退学者数減少・卒業生満足度の向上・就職決定率の向上

② それぞれの項目を前年比にすると、

- ・退学率結果は 4.39%（前年比 4.31%減少）、卒業生満足度は 3.73%（前年比 0.03%UP）
- ・授業アンケート（この授業は将来役に立つと実感できる、この授業は全体的に満足できる）は、3.75%（前年比同様）
- ・就職決定率は 98.3%（前年比 0.3%UP）

③ 2025 年度は退学者を 4.3%以内に抑えることを目標に、就職決定率 100%に向けて、生徒の状況をいち早く察知し、担任と講師陣と情報共有し卒業生満足度を高められるように目指していく

④ 学校関係者評価委員会コメント

退学率低減、就職率、卒業生満足度増加し、担任と講師陣と協力し合える体制が大きく関わっていると感じる。2025 年度も引き続き重点施策を継続してほしい（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエトラベル科について）

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

・人材育成像&カリキュラム一覧を活用し、生徒へ目指す人物像2年間の授業、検定、行事などで身に付くことやどのように成長できるのかをキャリアデザイン授業内で説明し、生徒に自己評価と次への目標を設定してもらい、個人面談で活用している

・昨年度に引き続き心の問題を抱えている生徒に対して、スクールカウンセラーの周知と促しを行っている

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

業務の効率化、作業効率をあげるため、授業データ、情報共有を teams 活用している

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

障害学生支援～合理的配慮について研修実施、イビスタイルズ札幌様からホテル業界研修実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

卒業生全体の活躍、評価を把握するためにアンケートを実施しているが回収率が低い

② 今後の改善方策

卒業担任と密に連絡が取れている卒業生は活躍を把握できている、同窓会 LINK を活用構築できるように努める

③ 特記事項

・就職サポートについて未決定者の状況を共有し、企業担当と担任が連携しサポートする体制を構築し実行
 ・退学者軽減できるように、生徒の気持ちの変化が起こりえることを想定し、先手を打って教科の先生方への授業の様子アンケートや hyperQU のアンケートを取り入れ、クラス全体や生徒の気質傾向、個人の心理状況を把握し対策を練って、個別やクラス対応を実践したことで退学防止に繋げることができた

④ 学校関係者評価委員会コメント

・卒業生の活躍や評価については、在職中の当校卒業生の評価やアンケートに協力できるので期間や仕組みを提示していただきたい（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について）
 ・当社も次年度からアンケートに協力することが可能（松田委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

中途退学者への支援体制不足

② 今後の改善方策

- ・同窓会 LINE を活用し情報発信及び相互交流における支援体制の構築を目指す
- ・卒業生支援として自己啓発の機会を今後実施予定

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

- ・実習施設、教室を全面的に改装し、より実践的な授業を行える環境を整えた（チャペル、バンケット、ドレス、ヘアメイク、空港、ホテル関連）
- ・海外研修制度実施、リゾートインターンシップ、インターンシップ選択科目として運営

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・リアリティがある実習室があることで入学生が将来を想像していくことができる（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について）
- ・設備の豊富さは他校にはない、実習室が整備され、各職種業務内容の習熟度が高めることができる（川原委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について）
- ・現場と同じ環境で授業を学ぶ施設、インターンシップで実践力がつくことができるのが強みになり、現場で活躍できる人材育成をしている（松田委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

今後も適正な運営を継続していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・地域に対する公開講座は未実施

② 今後の改善方策

・地域連携を更に強化できるような活動を検討していく

③ 特記事項

・ボランティア活動は企業様と連携して実施している。高齢者施設でのヘアメイク等
 ・中学生へ施設見学や観光系の授業を実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

・未就学児への食事提供として学生食堂を2～3年前から関東で実施をしている。入居者の保護者様や地域へDMを配り告知している（川原委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科）
 ・地域の中学生の施設見学受け入れや、キャリアデザイン授業を実施している（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について）
 ・修学旅行生へサービスマナー研修の実施、商工会議所からの要請等で実施（松田委員：ホテルエアトラベル科・ウェディングプランナー科について）
 ・市内中心部の住居者が少ないので地域貢献が難しいかもしれないが、観光客が増加しているのでその方対象に何か貢献できることを検討してはどうか（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について）
 ・海外の方を対象としてボランティア活動を実施しやすいのは、ホテルエアトラベル科になるので今後検討していく（熊木副校長）

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

・国外での学習成果への評価体制が整っていない環境であった

② 今後の改善方策

・留学生の学習効果を評価していただける環境作りに日本語学校と情報交換を行う

③ 特記事項

・留学生の受け入れはホテルエアトラベル科で増加している

④ 学校関係者評価委員会コメント

・次年度は留学生の採用2名。清掃担当として海外の方が多く採用している（松田委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科）

・留学生、外国籍の方も積極的に増やしていきたい考えがある（川原委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について）

・技人国 VISA 取得の方、日本での就労経験者であればより採用しやすい。スタッフとの親和性がある方を採用していきたい（中村委員：ウェディングプランナー科、ブライダルヘアメイク&ドレス科について）

・外国籍採用について語学の N1,N2 を必須というよりは、コミュニケーションがしっかりできる方、一緒に働く上でのコミュニケーションをとろうとすることができるかが大事（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について）

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2024 年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた

- ・退学者数の減少
- ・卒業生満足度の向上
- ・就職決定率の向上

2024 年度より良い結果に繋げることができましたので、2025 年度も引き続き重点項目に取り組んでいきたい